
効果的な英語学習法について

2006年6月7日 (於 茨城大学教育学部)

東武大(高エネルギー加速器研究機構)

azumat@post.kek.jp

<http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~azuma/index.html>

目次

- | | |
|-------------------|-----|
| 1. はじめに | p2 |
| 2. 音読を中心とした勉強法 | p3 |
| 3. 語彙力の向上 | p7 |
| 4. エッセイライティングについて | p10 |
| 5. まとめ | p12 |

§ 1-はじめに

英語教育に関する近年の諸々の動き:

- 小学校における英語必修化の推進
- 2003年3月: 文科省の「英語の使える日本人」育成行動
英語教員の目標設定 (英検準1級以上)

教職関係者の方々にとって、英語力を向上する必要性が高まっている。

4技能の向上の必要性:

reading, writing, speaking, listening

§ 2-音読を中心とした勉強法

英語の音読: 読んだ英文を自分のものにする上で有効。

100%理解している英文(例えば中学高校の教科書など)を繰り返し音読する。

シャドーイング:

英語を聞いたとおりに、実際に声に出す。

- 最初のうちは、テキストを見ながら、
- テキストを見ないで聞いた内容を声に出せるようにする。
- 自分の声を録音して、間違った箇所をチェックする。

発音、イントネーションを体得する上で有効。

リプロダクション:

一文(5-15語程度)を一通り聞いたあとで、記憶を頼りに声に出す。

NHK「ビジネス英会話」の活用例 (2006年6月号より引用)

(a) On the whole, the training program seems (b) worthwhile.

(a) overall

(b) as good as gold

ディクテーション:

聞き取った内容を、紙の上に書き出す。

リスニング力・集中力を高めるうえで有効。

英検準1級の2次試験:

1分間の準備時間で、漫画の内容を2分間で説明する。

[参考] 英検1級の2次試験: 5つのトピックから1つを選んで、1分の準備時間で、2分間スピーチをする。

- A. To what extent should Japan restrict food imports?
 - B. The differences between school education and practical life experience
 - C. Should English be included on university entrance exams in Japan?
 - D. Imaging life without TV
 - E. Would I be willing to donate my organs after death?
-

英検(など)の口頭試問を題材にした勉強法:

- 最初に実際に1分間で原稿を考えて、2分間で話す。
- 話したものを録音して、終わった後で聞いてみる。
- 聞いて改良すべき点を見つけて、再度話して録音する。

この繰り返しで、すらすらと言えるようになるまで練習する。

§ 3-語彙力の向上

1. 高度な語彙(dignified words)の習得:

大学受験レベルの語彙 (英辞郎のレベル5-6まで)

(*)重要12,000語について、レベル1-12までをつけている(時事用語、日常用語、専門用語、固有名詞除く)。
レベル外の難単語でも重要な単語は沢山ある。



受験レベル以上の高度な語彙：
各種新聞・小説・洋画などを理解する上で必要。

[参考書]

- Duo 3.0、単語王2202 (大学受験レベル: 英辞郎のレベル6程度まで)
 - 英検準1級 Pass 英単語 (英辞郎のレベル8程度まで)
 - 1,100 words you need to know [CD : 550+ words you need to know]、
発信型英語スーパーボキャビル(前半は時事・日常用語、後半は高度な語彙)
(英辞郎のレベル9以上)
-

2. イディオム及び口語表現

幅広いジャンルの英文を理解するうえで重要。
句動詞(phrasal verb)、イディオムともに一つ一つ覚える必要がある。

例: account for → to explain the reason for ~, consist of ~,
be responsible for ~
pick on → to criticize, punish or be unkind to ~
run-of-the-mill → mediocre, normal, average

[参考書]

1,100 words you need to know, 発信型英語スーパー口語表現

語彙の勉強法:

•英英辞典を引く ⇒ 語のニュアンスが分かる、類義語の整理に役立つ。

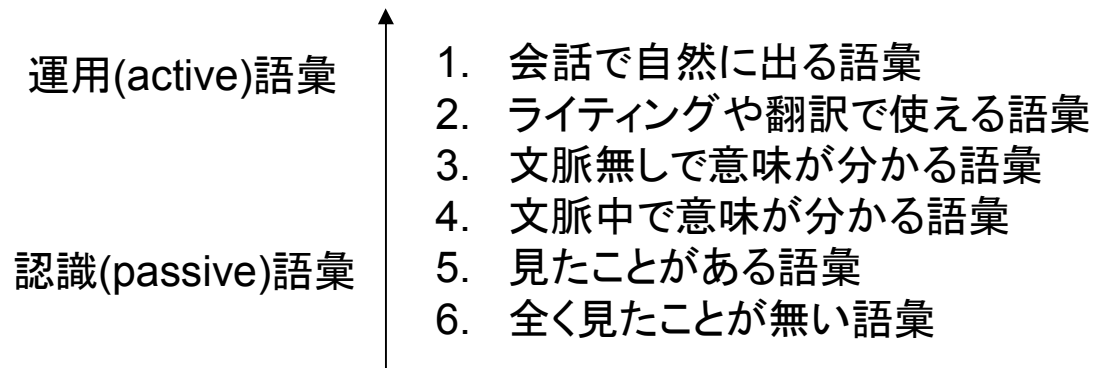
•語の定義、例文を音読する。

(例) irrelevant = not related to the subject

The defendant was alleged to have been an army deserter, but the judge said that was irrelevant to the case.

(被告人は昔脱走兵であったと言われたが、裁判官は、それは本題には関係ないと言った。)

•(もし例文の音声があれば)、聞いてシャドーイングないしリプロダクションする。



語彙力が認識レベルから、運用レベルへ高まる。

reading, writing, speaking, listeningの4技能を同時に向上させる。

§ 4-エッセイライティングについて

各種検定試験(TOEFLなど)で、エッセイライティングが出題。

[例題] "Your school has received a gift of money. What do you think is the best way for your school to spend this money? Use specific reasons and details to support your choice."

[その他の問題]

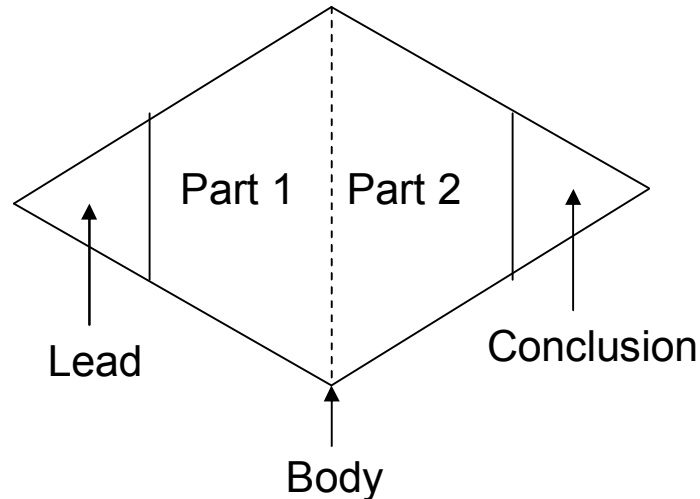
<http://www.ets.org/Media/Tests/TOEFL/pdf/989563wt.pdf>

制限時間30分で、(理想的には)300語以上書く必要がある。

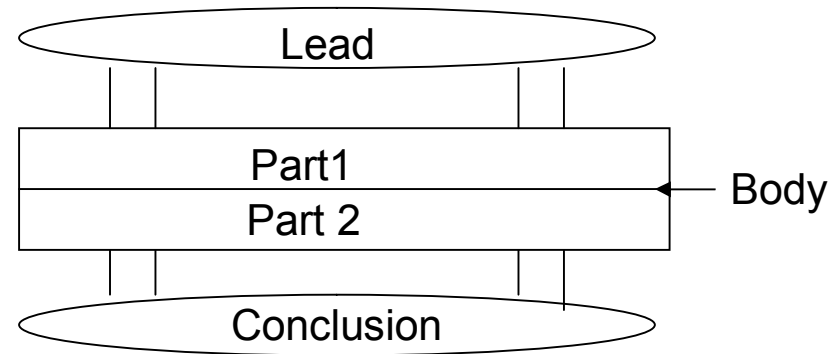
テンプレートに当てはめて書くのが効果的。

典型的な段落構成 (この二つは名前が違うだけで、本質的には同じもの)

菱形モデル(diamond-shaped structure)



双胴船モデル (catamaran structure)



- Lead : エッセイの導入部分。
- Body : エッセイの本論。具体的に学校のお金の使い道とその根拠について述べる
(例: 教師の増員、コンピューターの導入、全教室にプロジェクターを取り付けるetc...)
あるいは、一つの項目に絞って、理由2,3点をBody(1段落ごとに1つの論点)で述べる。
- Conclusion : エッセイの締めくくり。

§ 5-まとめ

音読を中心とした、英語の勉強法

reading, writing, speaking, listeningの4技能を高めるのに効果的。

語彙の勉強法、及び検定試験におけるライティングの構成。

英語の勉強、がんばっていきましょう。
